

学生さんから頂いた 授業の感想

情報媒体の交換、保存を扱っている企業がある、ということに想像もしたことがなかったので、その存在を知る、というだけで非常にためになった授業でした。有難うございました。

会社概要パンフレットに記載されていた「柔軟にお応えできる」品質対応が可能、というのには非常に有難いことの上存のようサービスだと客目線に感じました。全体を通じて客目線に立ったサービスを提供している雰囲気を感じました。今後とも応援しております。有難うございました。

「儲けが正しい 損が正しい」という言葉がいつも心に響きました。
その中には自分の利益以外も考えられているのではないかと思います。

災害等による資料の紛失を考えると資料の媒体交換は重要なことだと感じた。レコレ、デジタル媒体にもデジタルはあつて、そこはアナログの媒体がまだまだ必要だと思ってる。古文書がCool Japanなどに活用されていることは全く知らなかった。びっくりした。

貴重なお話をありがとうございました。

紙の資料をデジタル資料にするのは
様々な技術と専門家の方によって成り立っ
ていることなりましたなと思いました。

資料の保存は慎重に行う必要があると思うので
すか、皆さんがその仕事に情熱をもっていることか
分かってとてもおもしろかったです。

下地の色を使い分けて実物株の色をきちんと撮影する
というのが面白かった。ただ明るかったり暗すぎたり
しているだけでは保存にならないのだと学んだ。

データならではの保存方法、そのための工夫について
聞けて良かった。

実演をまじえながらの講義でとても興味
深い内容だった。紙資料も紙の良さがある
が活用という面ではデジタルの強さがあるとい
うことがわかった。

「資料を保存する」と一言でいっても、アナログとデジタルでは大分異なるのだからと知ることができました。実物の保護と活用のための保存、どちらか良いかではなく、どちらも両立して、未来にも残していくことが必要なのだと思います。両立のためには、アナログとデジタルの双方の特性をお互いのプロから理解することが大切であると考えました。

デジタルカメラでの資料の撮影について、今後用いることかどで費やらず方法論を学ぶことができ、非常にためになりました。

実際にデジタルカメラを使い、2枚撮影してみると、露出による全く異なる写真が撮れることが驚いた。デジタルカメラがどんどん進化しているから、今後には云々を学ぶためには、やはりアナログも重要だと気づき、果敢とチャレンジをわかった。

一眼レフを使って実際に資料を
電子化する機材を見せていただき
またそのやり方も知ることができ
とても興味深かったです。

資料を後生に残すために何をやるのが、
これからどうしていくべきかを詳しく教えて
いただき、乞して知ることができました。
本日はありがとうございました。

商いだけでなく社会貢献も視野に入れて
いる意識の高さに驚きました。今日は様々
なお話を聞いて良かったです。ありがとう
ございました。

受け取られた記録を未来につなぐ
いくためにさまざまな努力をされていると
いうことが分かった。

配布していたマイクロフィルムがマジク
がわいいです!